

あなたの力が
必要です



消防団員 募集



普段は別の仕事をしながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、火災や台風などの災害発生時に、消防署員と協力して消防・防災活動を行うのが消防団員です。

そこで、町民の安全と安心を守る消防団員を募集しています。「消防団活動に興味がある。」「災害時に地域に貢献したい。」という方は、ご自宅付近の消防団や山北町消防団事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先（山北町消防団事務局）

山北町 地域防災課 防災安全班

〒258-0195 山北町山北1301番地4

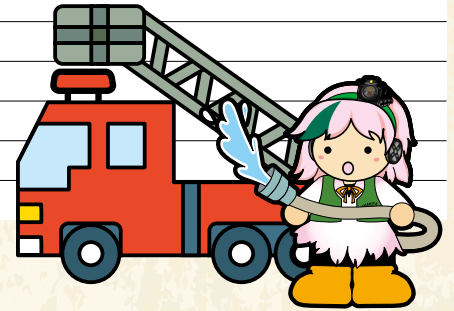
TEL 0465-75-3643 FAX 0465-75-3660

Mail bousai@town.yamakita.kanagawa.jp



・ 消防団組織

消防団	団長・分団長	受持区域
本 団	団 長 瀬 戸 茂	町内全域
第 1 分 団	分 団 長 関 博 文	台、萩原、萩原下、田屋敷
第 2 分 団	分 団 長 木 川 修 一	馬場、田中、鶴野、鶴野南、上清水、中下清水
第 3 分 団	分 団 長 中 野 英 介	堂山、万随、根下、城山、宮地、仁道、怒杭文化
第 4 分 団	分 団 長 古 林 恵 太	越地、宿、斑目、南原、湯坂、原耕地
第 5 分 団	分 団 長 鈴 木 憲 一	尺里西、尺里中、尺里東、高松、上本村、下本村、本村東、村雨、山下、前耕地、水上
第 6 分 団	分 団 長 湯 川 靖 法	平山
第 7 分 団	分 団 長 岩 本 昭 弘	共和東、共和西
第 8 分 団	分 団 長 武 尾 和 人	嵐、谷ヶ
第 9 分 団	分 団 長 山 崎 隆 志	峰下、峰塩沢、谷戸諸淵、透間
第 10 分 団	分 団 長 池 田 健	大蔵野、湯触
第 11 分 団	分 団 長 鈴 木 淳 一 郎	山市場、湯本平、川西平山、神縄
第 12 分 団	分 団 長 三 尋 木 裕 介	浅瀬、丹沢湖、玄倉
第 14 分 団	分 団 長 井 上 明 人	籌沢、畑



・ 平常時の活動

1月 消防出初式 / 3月 春季火災予防警戒 / 4月 礼式訓練・ポンプ性能検査 / 6月 普通救命講習
 9月 総合防災訓練 / 10月 総合演習 / 11月 秋季火災予防警戒 / 12月 年末特別火災予防警戒
 ※その他に分団で定期点検等の活動を実施しています。

災害時に次の活動により町民の生命と財産を守ります。

- ・ 消火活動
- ・ 搜索救助活動
- ・ 水防活動

消防団員の身分と報酬など

- ・ 身分は、町の非常勤特別職の地方公務員となります。
- ・ 報酬は、階級に応じて年額報酬などの手当が支給されます。
- ・ 公務災害補償は、消防団活動中の負傷などに対して補償されます。

消防団員になるには

- ・ 山北町在住で18歳以上の心身ともに健康な方

住宅防火命を守る 10のポイント

4つの習慣

1		2		3		4	
寝たばこは絶対にしない、させない。		ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。		こたろを使うときは火のそばを離れない。		コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く。	

6つの対策

1		2		3		4		5		6	
火災の発生を防ぐために、ストーブやこたろ等は安全装置の付いた機器を使用する。		火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。		火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火製品を使用する。		火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。		お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。		防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。	